

**NEW SHOPPING STYLE
THAT'S AUCTION**



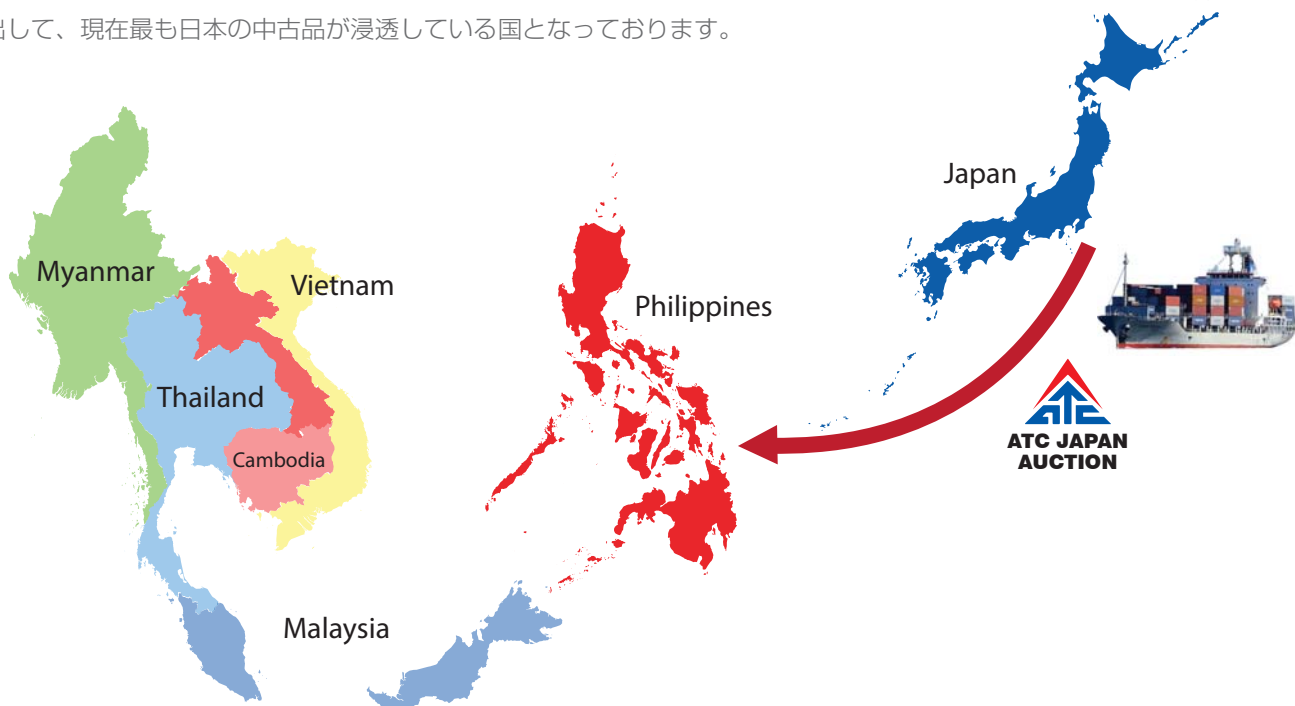
**ATC JAPAN
AUCTION**

フィリピン輸出パートナーのご案内

フィリピンの日本からの中古品における市場性とフィリピンのオークションの役割

近年、日本のリユース業界における海外輸出の需要はますます高まり、フィリピンをはじめタイ、カンボジア、マレーシア、ミャンマーなど東南アジアを中心に日本中から中古品のコンテナが輸出されています。日本では再販できない、または再販しにくい古い年式ものや、需要がなくなったものでも、これらの新興国では大変に重宝され、大量の日本からの中古品が現地では目まぐるしい勢いで消費されています。

その中でもフィリピンは日本の中古品のオークション会場がマニラ首都圏周辺に数多く存在し、それらのオークション会場が物流のハブとしての機能を果たし、たくさんの大型リサイクルショップから小さな個人のリサイクルショップやネット販売業者などを生み出して、現在最も日本の中古品が浸透している国となっております。



ATC JAPAN AUCTIONとは?

ATC JAPAN AUCTIONは、2019年9月にフィリピン ビニャンに設立された大型オークション会場です。当オークションの運営者は、フィリピン、カンボジア、タイなどの東南アジア諸国に、日本の中古品を2009年から過去10年以上にわたり日本の様々なジャンルの中古品のコンテナをオークション会場やリサイクルショップ、海外の直営店などに2000本以上輸出をして参りました。その過程での成功や失敗の経験を活かし、日本のサプライヤー、現地のバイヤーの双方にとって理想のカタチのオークションを目指すべく設立されたのがATC JAPAN AUCTIONです。



ATC JAPAN AUCTIONの特徴

ATC JAPAN AUCTIONは1200平米(約360坪)の大型オークション会場です。フィリピンマニラ首都圏からSLEX(南ルソン高速道路)で約30分ほど南下したアクセスが良い場所に位置しており、北はマニラ、南はバタンガスといった都市を繋ぐ交通量が多い国道近くに位置しており広範囲からのビッドの獲得を実現しております。

また、オークション会場は広い駐車場を有しており、たくさんのビッドを呼び込むことが可能です。



○ ATC JAPAN AUCTIONでの販売可能な商品



家具： 家具全般（婚礼家具や西洋などの無垢材の家具、ダイニングセット、鏡台等は人気商品）

電化製品： 液晶テレビ、ノートパソコン、液晶モニター、デスクトップパソコン、デジカメ、

楽器・音響： スピーカー、アンプ、コンポ、ターンテーブル、ピアノ、電子ピアノ、エレキーン、ギター、管楽器、打楽器

生活・ファッション： 食器類、キッチン用品、バッグ、靴、傘、置時計、腕時計、アクセサリ

スポーツ： 自転車、スポーツ用品、エクササイズマシン、ジェットスキー、釣り具

機械： 電動工具、発電機、溶接機、工作機械（輸出前に事前に価格交渉）

雑貨： 贈答品、ぬいぐるみ、アクセサリ、人形、絵画、置物、新品衣類（古着はNG）

オフィス用品： オフィスチェア、応接セット、書庫、※金庫

子供・ベビー： おもちゃ、フィギュア、ぬいぐるみ、ベビーカー、ベビーベッド

カー用品： アルミホイール、チャイルドシート、ヘルメット、カーオーディオ

緩衝材： 布団※、毛布※、座布団※ など

※印は少量のみ積み込みが可能。

X ATC JAPAN AUCTIONで販売できない商品



需要がないために販売できないもの、または販売が難しいもの

電気ポット、ドライヤー、ストーブ、ビデオデッキ、中古の文房具、部品が揃っていない商品

モニターが割れたテレビやPCモニター、年式が古すぎる家電（12年以内が目安）、汚れやダメージがひどい商品 など

日本またはフィリピンの法律、またはバーゼル法、輸入許可の範囲により輸出ができないもの

車・オートバイの本体、タイヤ、ブラウン管テレビ、古着、食品、液体、DVD、ビデオテープ、植物、生き物、発火性のもの、薬品、包丁や刃物（箱に入っている商品であればOK）、シリアル番号が不明な発電機や溶接機、ゴミとみなされる商品、ワシントン条約で規制されている剥製、その他法律に違反しているもの など

● どのようなコンテナがどのくらいの売上になるのか？

ATC JAPAN AUCTIONへのコンテナ輸出は、基本的に40フィートハイキューブに商品を積み込みしていただきます。

約70立米という大きなコンテナに隙間なくギッシリと商品を積み込みしていただきますと日本円にして**50万ペソから120万ペソ（約115万円から250万円）**ほどの売り上げになります。

家具や雑貨などの日用品のコンテナ輸出は輸送コストとの戦いと言われており、売り上げの低いコンテナも高いコンテナも輸送にかかる固定費は同じですので、コンテナ一本でいかに高い売り上げを目指すかが輸出事業で利益を残すかのポイントとなります。



● コンテナ輸出のコストとオークションの販売手数料について

輸出パートナー様にかかる費用は大きく分けて下記の4つとなります。

1. 日本からマニラ港までの輸送費用。（輸出パートナー様の前払いとなります。）
2. フィリピン側の関税及び港から会場までの陸送費。**※1**（現地にて立替。230,000ペソ＝約48万円）
3. オークション販売手数料15%。（コンテナがオークション会場到着後、約40日で精算となります。**※2**）
4. オークション準備手数料10,000ペソ。（商品仕分け、清掃、動作確認などに対する手数料。）

※1 精算時に、売り上げからフィリピン側での立替えた費用と販売手数料を差し引いて輸出パートナー様にお振込みいたします。

※2 コンテナの総売り上げが60万ペソに満たない場合、販売手数料はスライド方式で変動します。（別紙参照）

比べてください!オークション輸出販売と廃棄処分との違い!!

オークション売上が80万ペソの場合

積地～マニラ港までの輸送費 ※1	-250,000円
フィリピンでの関税及び陸送費	-230,000ペソ
販売コミッション 15%	-120,000ペソ
オークション準備手数料	-10,000ペソ
輸出パートナー様収支	+674,900円 ※2

1 コンテナ分を日本で廃棄処分する場合

コンテナ 1 台あたりの廃棄コスト
約 10 t 分の処分費＝約 -250,000 円
※廃棄物処理として平均 25 円 /kg かかった場合。

約92万円の収支改善!

※1 横浜近郊の積込地と仮定。

※2 ペソから円の為替レートが1ペソ＝2.1円の場合。

また、日本への海外送金は、送金額の1.2%の送金手数料が発生します。

40フィートコンテナで より高い売上をあげるための

KNOW
HOW

01 量

まずは総重量10トンのコンテナを目標に隙間がなく小物をぎっしり積み込みしてください。椅子と椅子の間や、家具の引き出しの中にも可能な限り小物を詰めていきます。

この隙間には傘、この隙間にはぬいぐるみ、この緩衝材には毛布といった感じで輸出パートナー様独自のパターンを作っていきます。

また段ボールを使用せず、販売可能な衣装ケースやスーツケースを箱がわりに使用することで売り上げアップにつながります。



02 質

たくさんの量を積み込むことに慣れたら質の高い商品を増やしていきます。

同じ大きさでも単価の高い商品が増えたら売り上げがアップします。

例えば同じ容積でもプラスチックやメラニンの食器類は安くでしか売れませんが、陶器の食器類はもっと高く、また、セットものの洋食器や贈答品はさらに高値となります。



03 商品バランス

量、質と共に充実してきたらコンテナ一本における商品のバランスを追求します。日本の古物市場と同様に、同じジャンルの商品が大量に流れてくると値崩れを起こします。一本のコンテナで総合リサイクルショップのすべてのジャンルを網羅するのがよい構成といえます。

また、目を引くような目玉商品をいくつか入れることで、それを目当てに多くのバイヤーが集まります。



04 定期的なオークション見学

フィリピンは経済成長が著しく、市場やトレンドもどんどん変わっていきます。定期的にオークション見学にフィリピンまでお越しいただき、売れ筋商品や価格の変動を肌で感じてみてください。

また、経営者の方々だけでなく、実際に商品の選別やコンテナの積み込みをするご担当者様が順番にでもお越し頂くことで社内全体のノウハウの蓄積が強化されます。



ATC JAPAN LOGISTICS CORPORATIONによるコンテナ物流一元管理

ATC JAPAN AUCTIONでは、オークション運営だけではなく、日本～フィリピンのコンテナ物流業務までサポートをしないと輸出パートナー様の利益向上に繋がらないと考えております。

フィリピンマニラ港では、コンテナが止められて不当な賄賂を請求されたり、現地のコンテナ物流代行業者のミスにより多額な追加チャージが発生したりと様々な問題が頻発しております。

輸出パートナー様にとってブラックボックスだったコンテナ物流を、日本のコンテナの積地からフィリピンのオークション会場まで透明で一貫した物流管理体制を構築するために、日本のコンテナ国際物流専門会社(株式会社晋商ロジスティクス)と共にフィリピンの現地法人ATC JAPAN LOGISTICS CORPORATIONを2020年1月に設立いたしました。

日本、フィリピンのコンテナ物流管理を一元管理することで、輸送コスト削減、日比間の物流業者の連絡ミスによるトラブル回避、コンテナの手配からオークション会場到着までのステータス管理及び輸出サプライヤー様への共有が可能になりました。ATC JAPAN LOGISTICS CORPORATIONは物流コストの削減、トラブルによる無駄な追加チャージの回避、コンテナ到着の遅延などをなくし、輸出パートナー様の利益の向上と安心をご提供いたします。



ATC JAPAN AUCTION独自のサービス



ATC JAPAN LOGISTICS CORPORATIONによる日本、フィリピンのコンテナ物流一元管理及びリアルタイムな情報共有。



オークション開催前に全商品のインベントリー化



SNSを利用した写真付きの落札価格の共有



SNSによる輸出パートナー様限定のオークション及びコンテナ荷降ろしのライブ中継

コンテナ輸出の流れと参加条件

コンテナ輸出および清算までの流れ

- 01 40フィートコンテナ分の輸出商材を集める**

ATC JAPAN AUCTIONへの輸出は40フィートコンテナとなります。
そこにぎっしり積み込むための商材を輸出パートナー様のヤードに集めていただきます。
- 02 コンテナ手配**

コンテナ積み込みの準備ができましたらコンテナの配達の手配をいたします。
コンテナ積み込み作業の1週間から2週間くらい前にご連絡ください。
- 03 商品のコンテナ積み込み作業**

コンテナに商品を積み込みしていただきます。
積み込み作業をしながらSTEP4の書類作成のための積み込んだ商品の数量の記載や写真撮影などをしていただきます。
- 04 書類作成及び写真の送付**

コンテナに積み込んだ商品の積み込みリストの作成をしていただき当方の提携中古家電がある場合には環境省への申告の書類も作成していただきます。作成していただいた書類は写真と合わせて日本コンテナ輸送事務局にお送り頂きます。
- 05 輸出通関及びコンテナ輸送**

お送り頂いた積み込みリスト、写真に基づいて当方の日本コンテナ輸送事務局が代行して輸出通関手続きを行います。
- 06 フィリピン輸入通関及びコンテナのオークション会場への配達**

コンテナがマニラ港に到着いたしましたら、ATC JAPAN LOGISTICS CORPORATIONがコンテナの輸入通関からオークション会場までのコンテナ輸送までの業務を行います。
- 07 オークション販売**

コンテナがオークション会場に到着しましたら、商品の荷卸し、仕分け、動作確認、イベントリー作成の後、オークションに販売いたします。
- 08 売上金清算**

コンテナのオークション会場到着日から40日後に売り上げの清算をいたします。
精算時に全商品の売上レポートを送付いたします。

輸出パートナー参加条件と輸出までの流れ

輸出パートナー参加条件

● 加盟金300,000円(税抜)

事務手数料、資料代、初期指導料として頂戴致します。
年会費・更新料などは一切ございません。

※輸出事業経験者のパートナー様は応相談とさせていただきます。



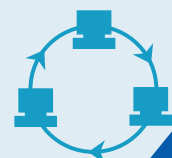
● 40フィートコンテナが入るヤードを保有していること。

輸出は全て40フィートコンテナで行ないます。それだけの商品をストックできる倉庫やヤードを保有している必要がございます。また、そこはトレーラーが出入り可能な立地であることが前提となります。



● 書類や写真をお送り頂くインターネット環境がある。

通関で必要な書類や写真は全てパソコンのデータでやりとりします。パソコンやインターネット環境がない方は、それらを整えて頂く必要がございます。



ATC JAPAN AUCTION

- 代表者 Irene Sasaki
- 所在地 3580 National Hi-way, Biñan, 4024 Laguna, Philipines Beside AMA University
- TEL +63-92-0635-6926
- URL <https://www.facebook.com/atc.japan.auction.binan/>

事業内容:
フィリピンにおけるオークション
運営及びリユース品の販売

ATC JAPAN LOGISTICS CORPORATION

- 代表者 梶川 晋太郎
- 所在地 DOÑA EUSEBIA BLDG.
U206 QUIRINO AVENUE PARANAQUE CITY
- TEL +63-95-6178-8517

事業内容:
ATC JAPAN AUCTIONのコンテナ
物流管理及び売上金の清算管理の代行
フィリピン国内小口配送

株式会社晋商ロジスティクス(日本コンテナ輸送事務局)

- 代表者 梶川 晋太郎
- 所在地 神奈川県横浜市中区常盤町1-2-1 関内電子ビル5階A1号室
- TEL 045-222-8112
- URL <http://www.shinsho-logi.co.jp/>

事業内容:
コンテナ国際物流仲介及び
物流管理業務

ATC CAMBODIA (カンボジア中古家電卸売拠点ASEAN TRADE CENTER)

- 代表者 木下 優
- 所在地 Land 1969, Street 1980, Sangkat Phnom Penh Thmey,
Khan Russey Keo, Phnom Penh City.
- TEL +855-962-757-537
- URL <http://www.asean-trade-center.com/>

事業内容:
カンボジアにおける日本の
中古家電卸売販売、世界各国の
中古車卸販の仲介売業務

ATC GROUP 総合案内担当連絡先

木下 優 080-3494-9140



小豆野 伸正 070-3844-4765

